

https://unsplash.com/



Software Engineer @DeNA 2013年4月入社 (新卒)

SWET (Software Engineer in Test) 所属

Mission

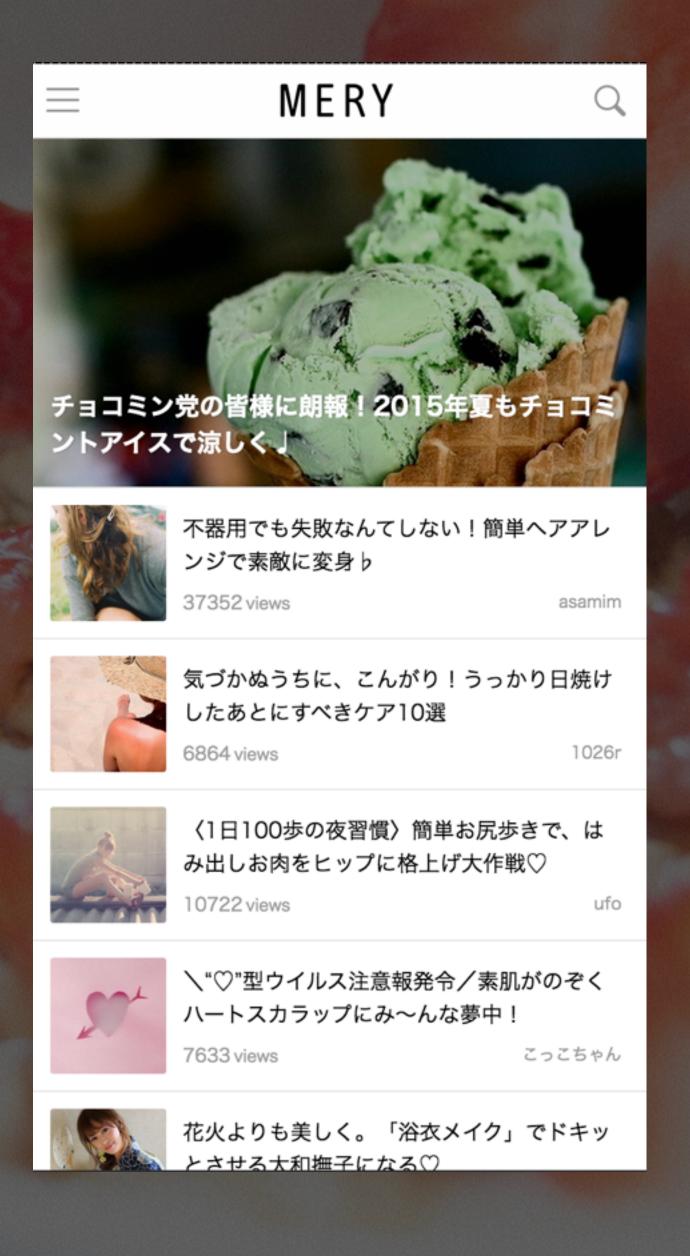
ゲームプラットフォームの品質保証・向上

開発生産性の向上

2015年5月

株式会社ペロリ出向

女性向けメディア MERYの開発・運用





DeNA Ø SWET

(Software Engineer in Test)

での取り組みについて紹介

ブラウザ自動テストの構築

テスト並列化による高速化

並列化したテストの運用・改善



テスト並列化による高速化

並列化したテストの運用・改善

NBPF

Next Browser Platform

次世代ブラウザゲームプラットフォーム

OpenID Connect + JavaScript SDK

従来の Mobage プラットフォームとも連携





NBPF に対する ブラウザ自動テストを構築

開発者によるユニットテスト + SWET による E2E テストのアプローチ

デプロイ・リリース時の受け入れテスト

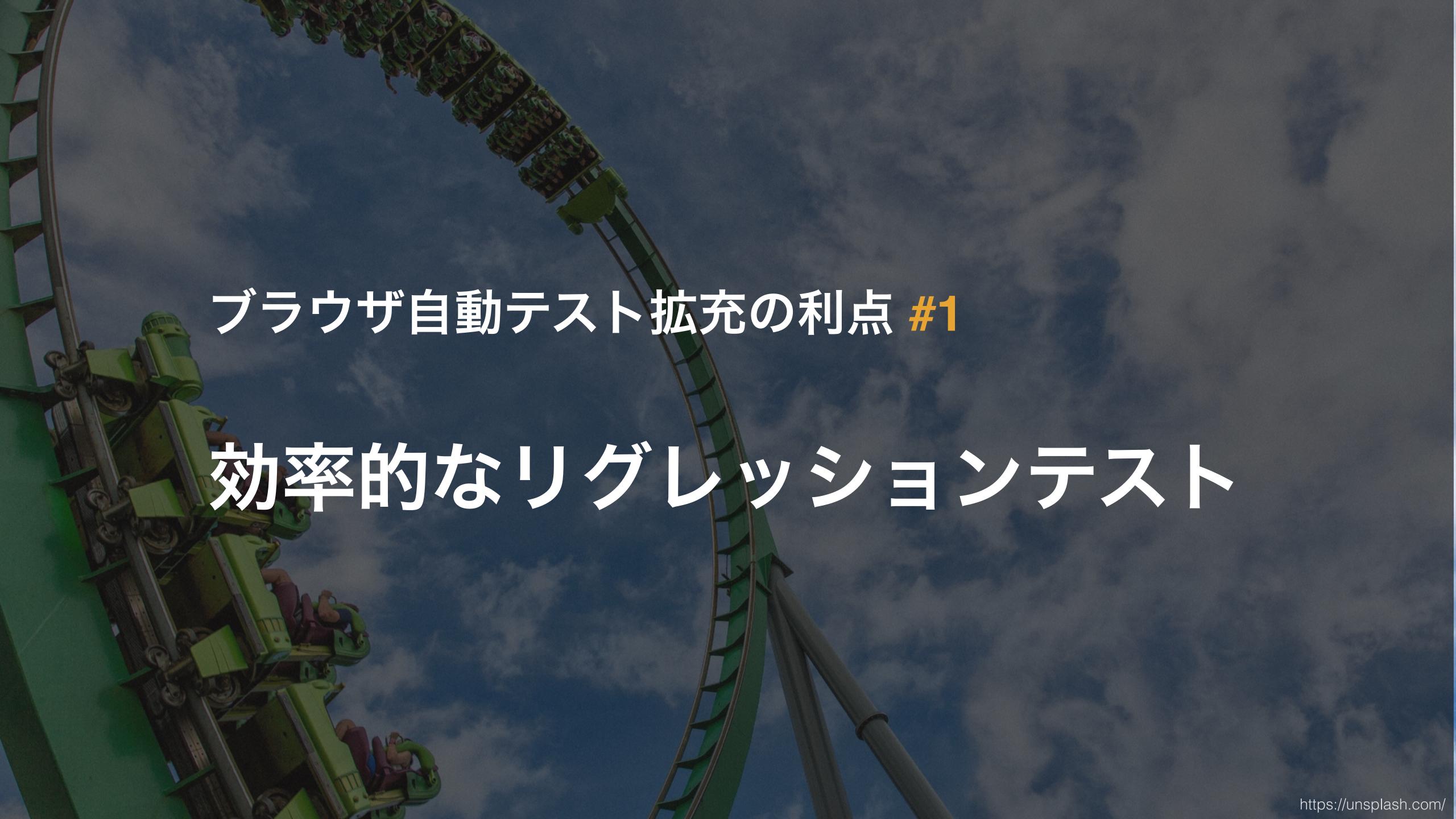
SDK やプラットフォーム機能の正常系・異常系テスト操作を自動化



ブラウザ自動テスト拡充の利点

#1 効率的なリグレッションテスト

#2 マニュアル検証工数の削減・集中







マニュアル検証工数の削減・集中



UI/レイアウトの確認や機種依存問題の発見 etc

QA工数を新機能や UI/レイアウト検証に集中

新機能の検証方針を考えることはコンピュータにはできない





ブラウザ自動テストは実行時間がかかる

HTTP リクエスト/レスポンス、Ajax、メール受信 etc.

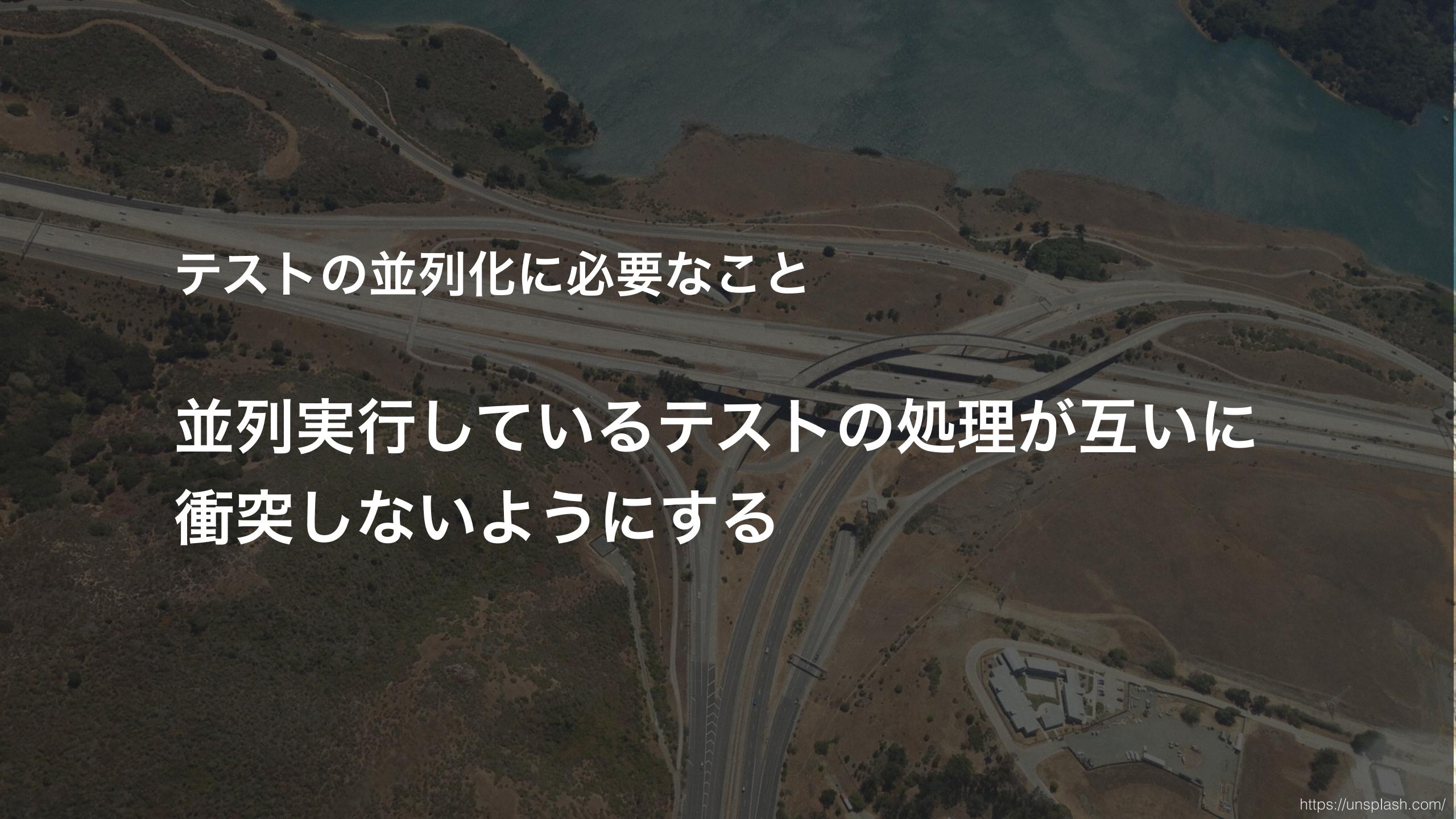
実行するテストケースを削減することは避けたい

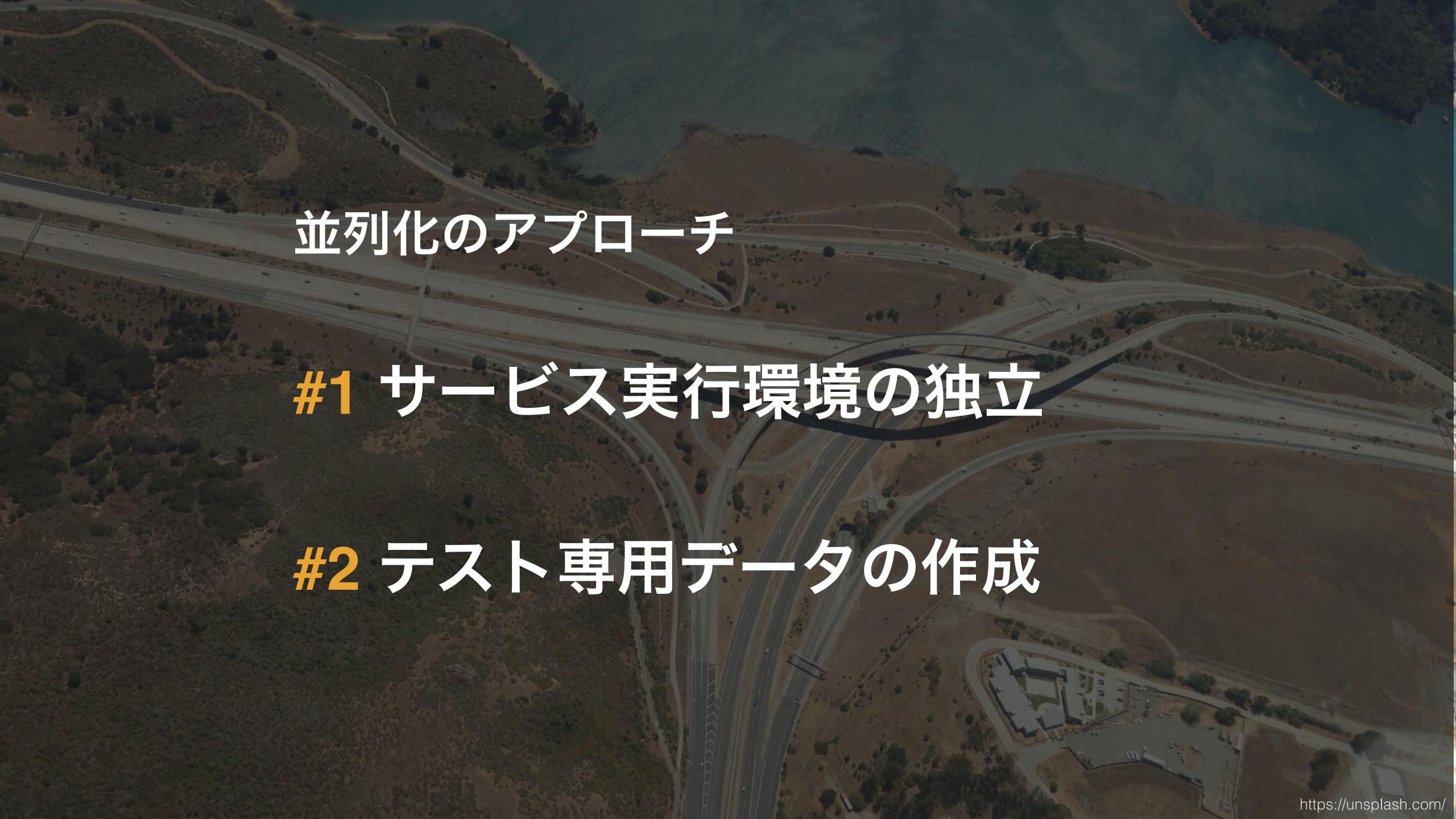
リグレッションテストとしての効果 down

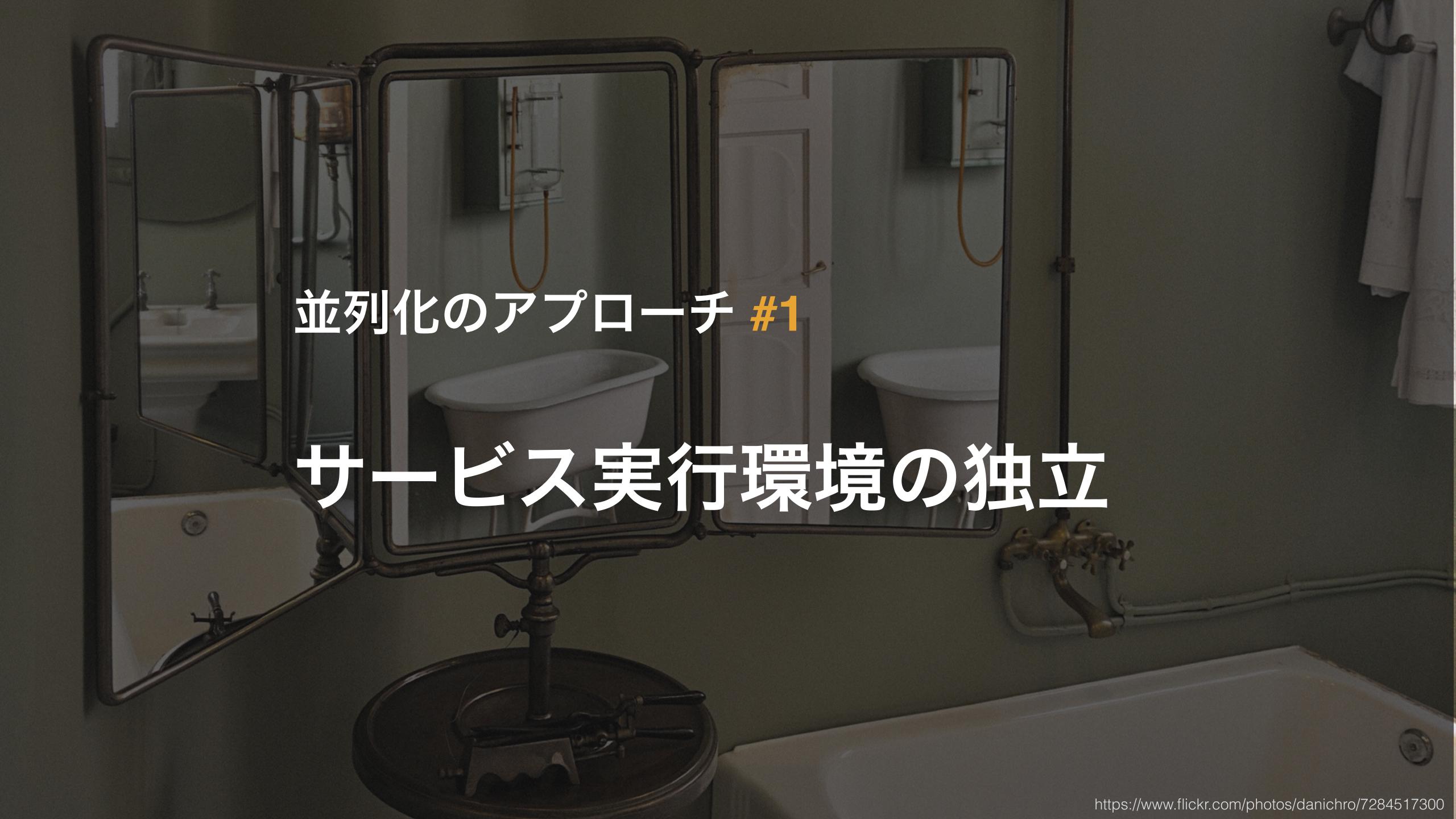
ブラウザ自動テストの構築

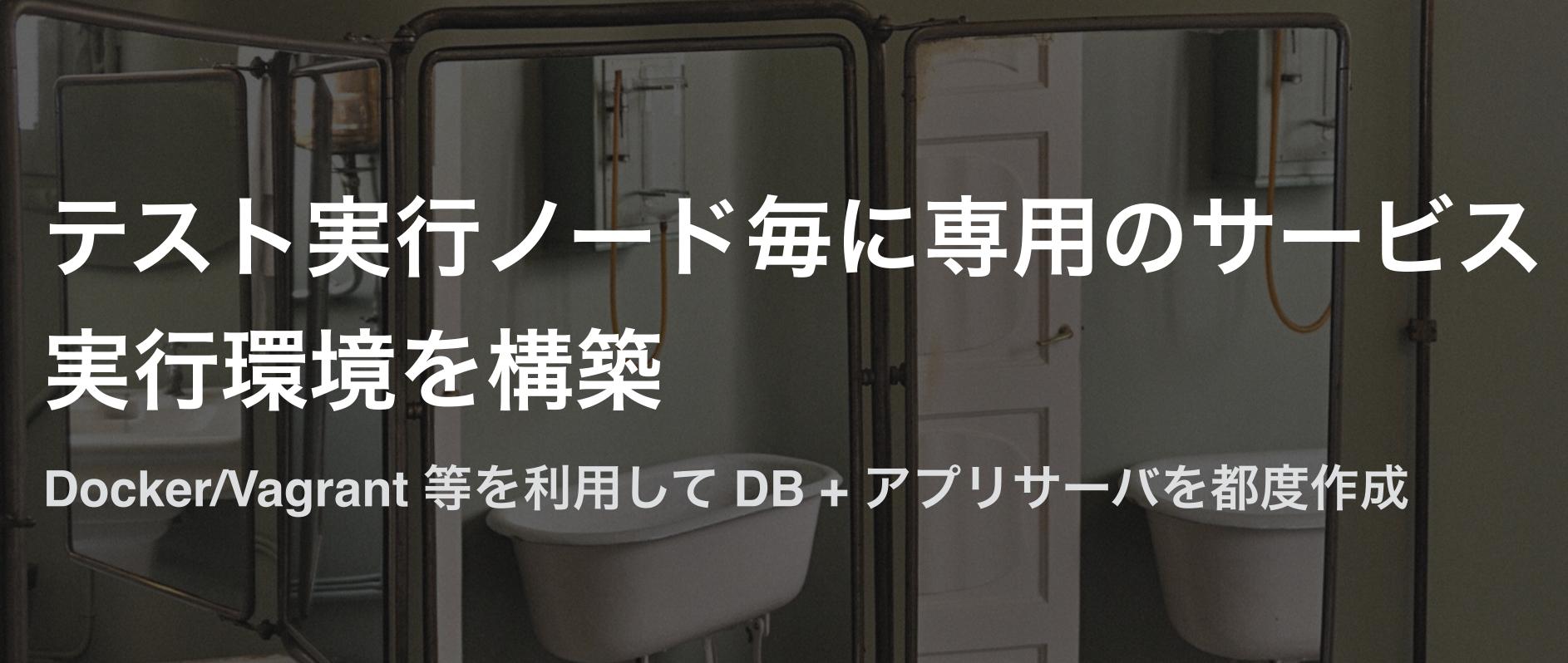
テスト並列化による高速化

並列化したテストの運用・改善

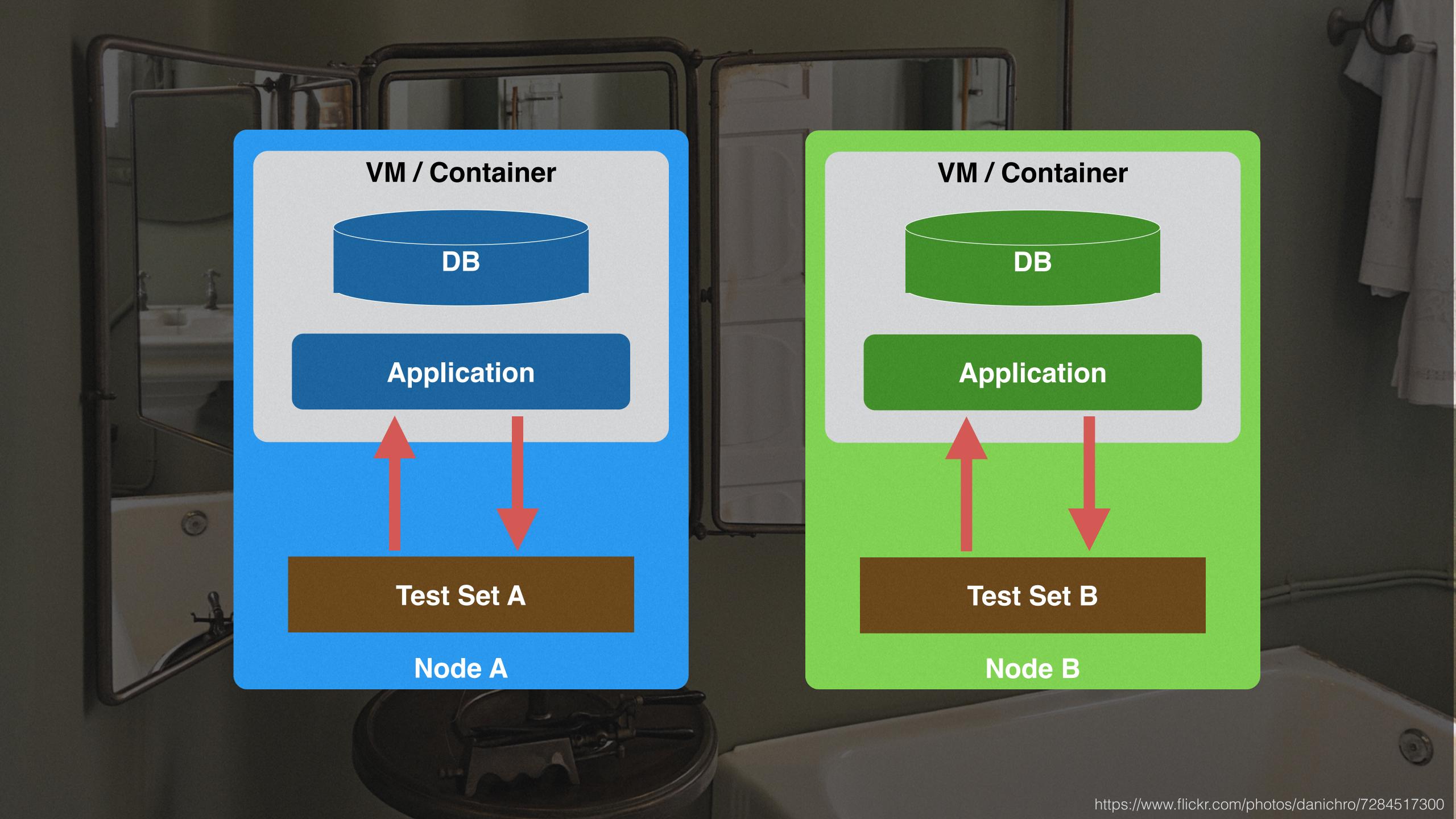


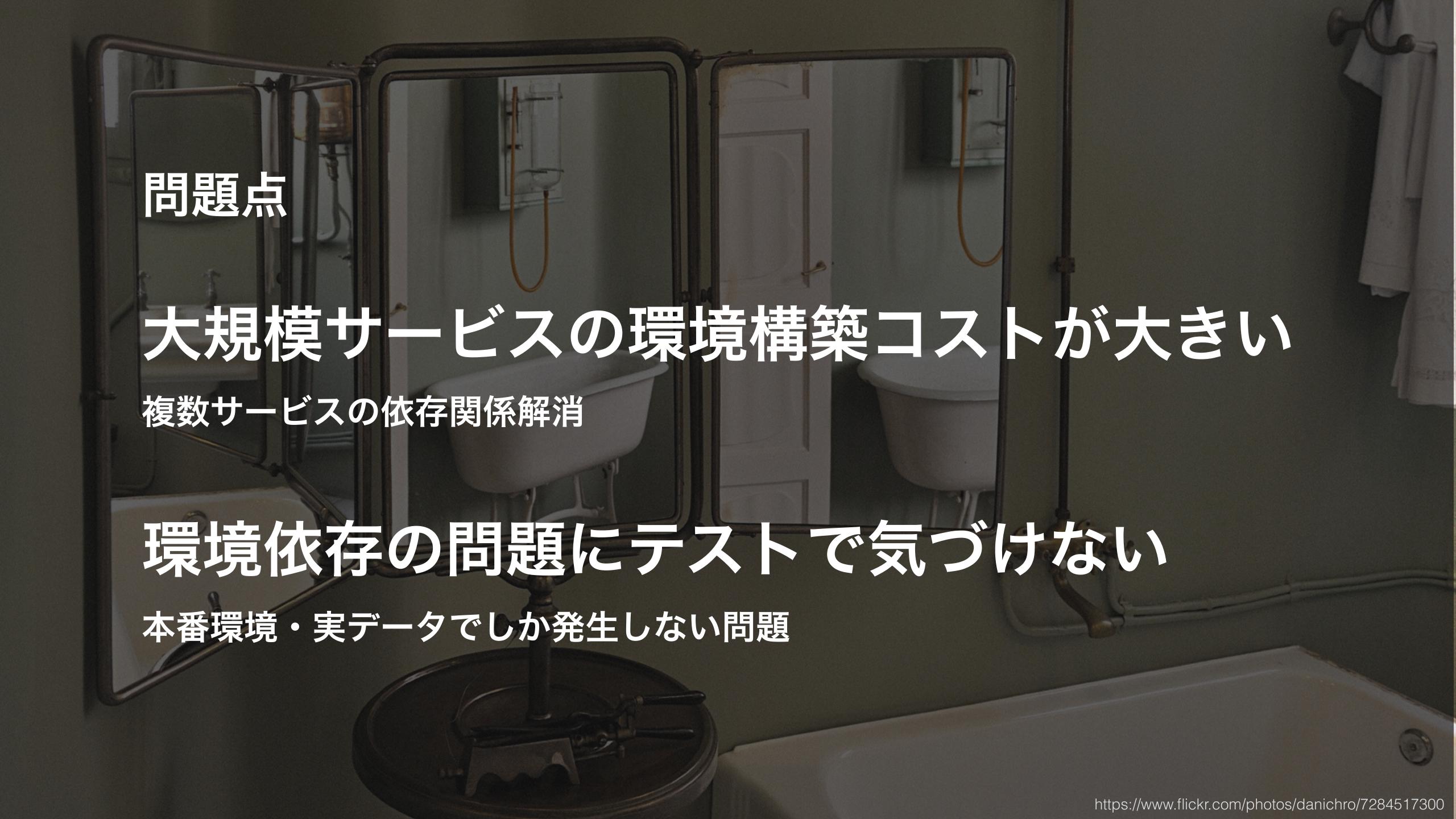


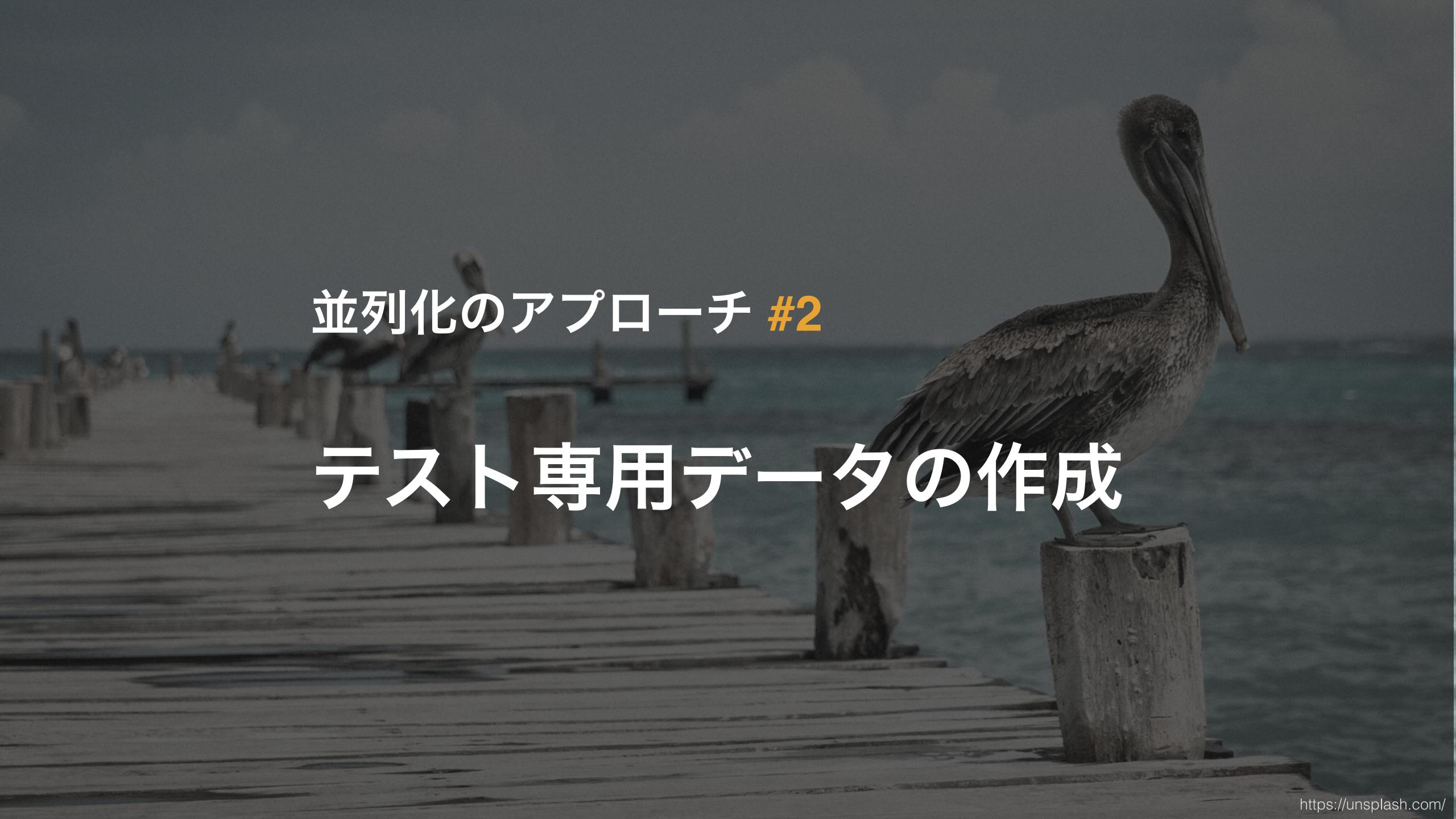


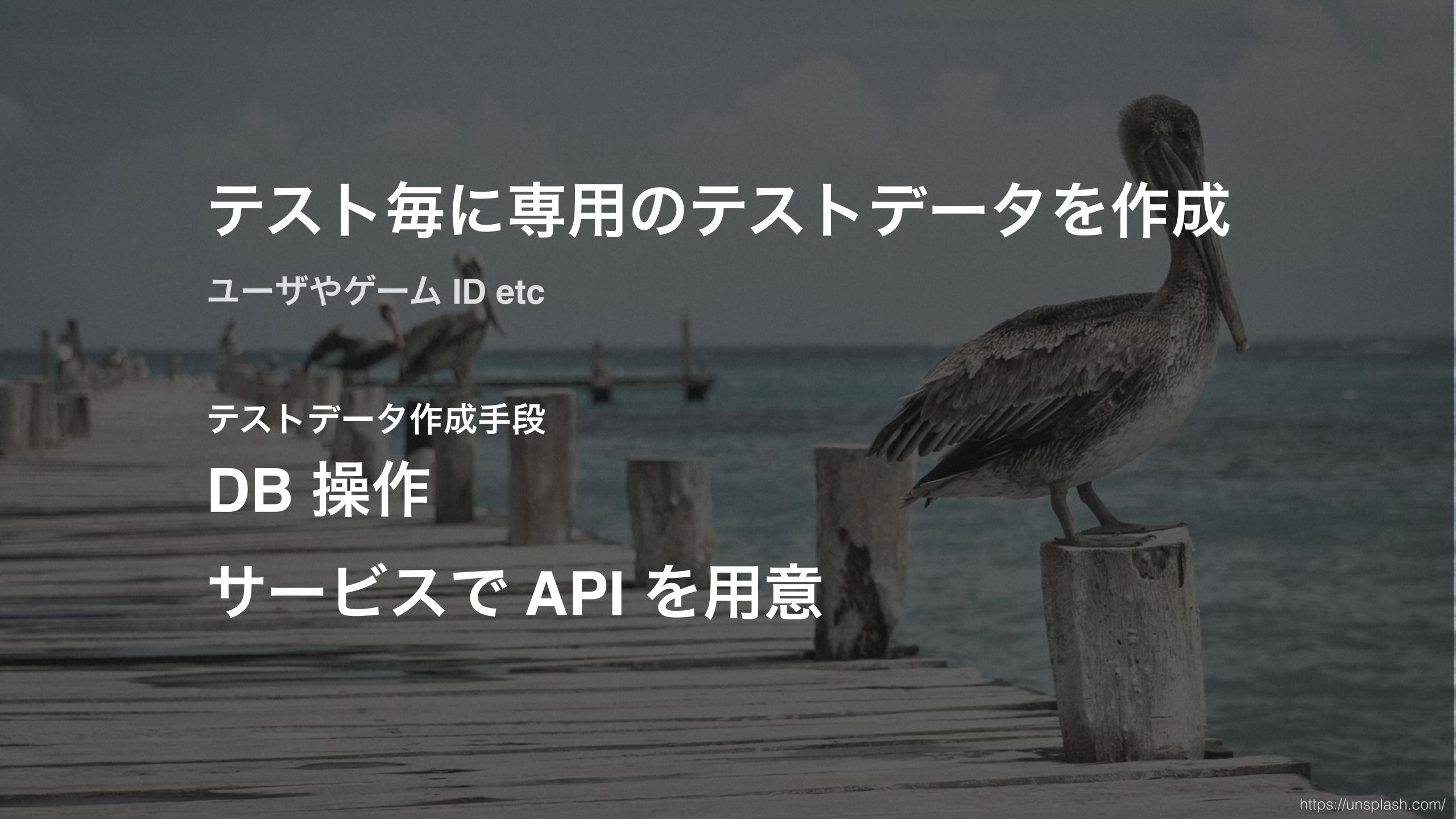


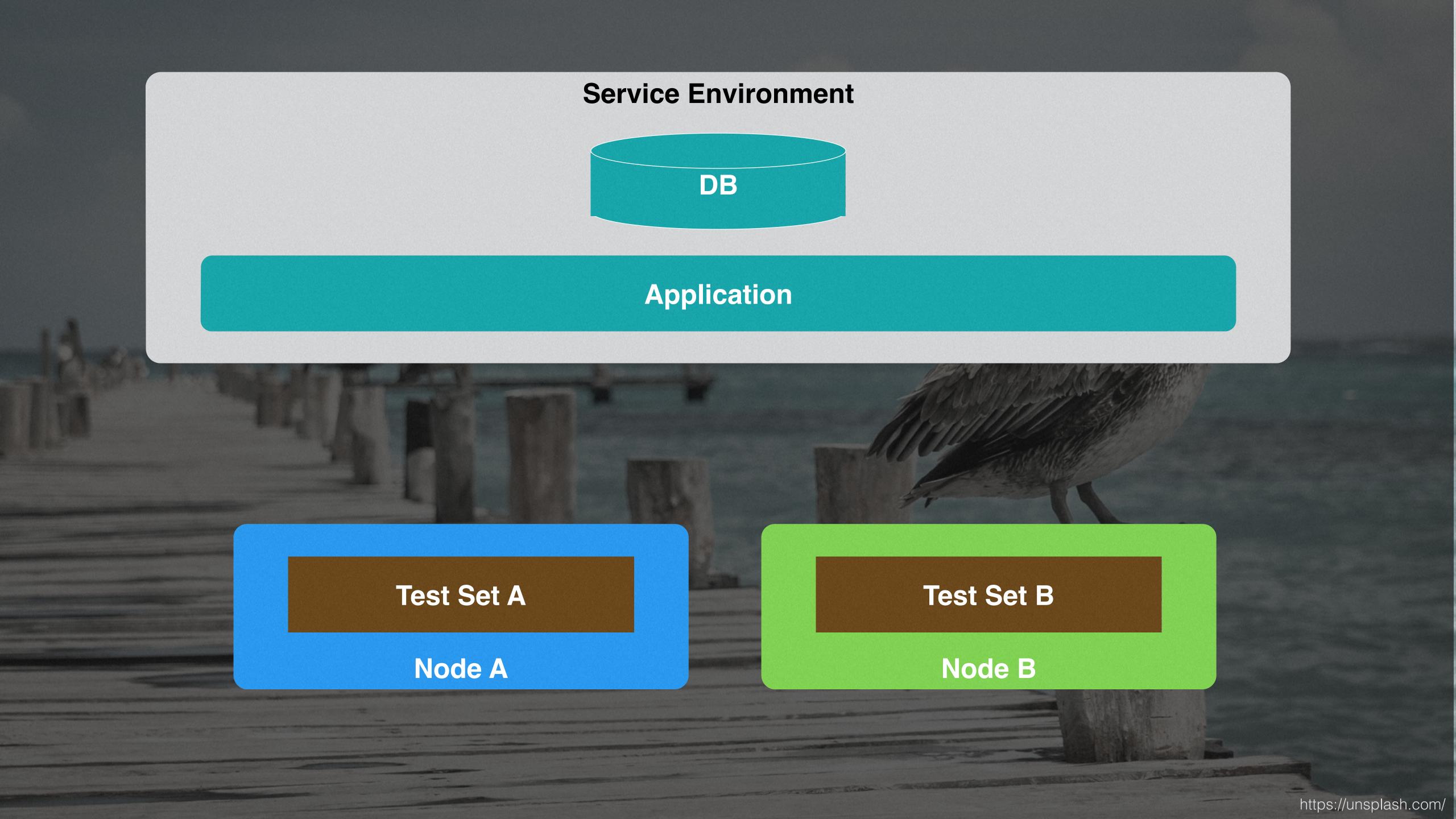
各テストが専用の環境に向けて動作するので 衝突しない

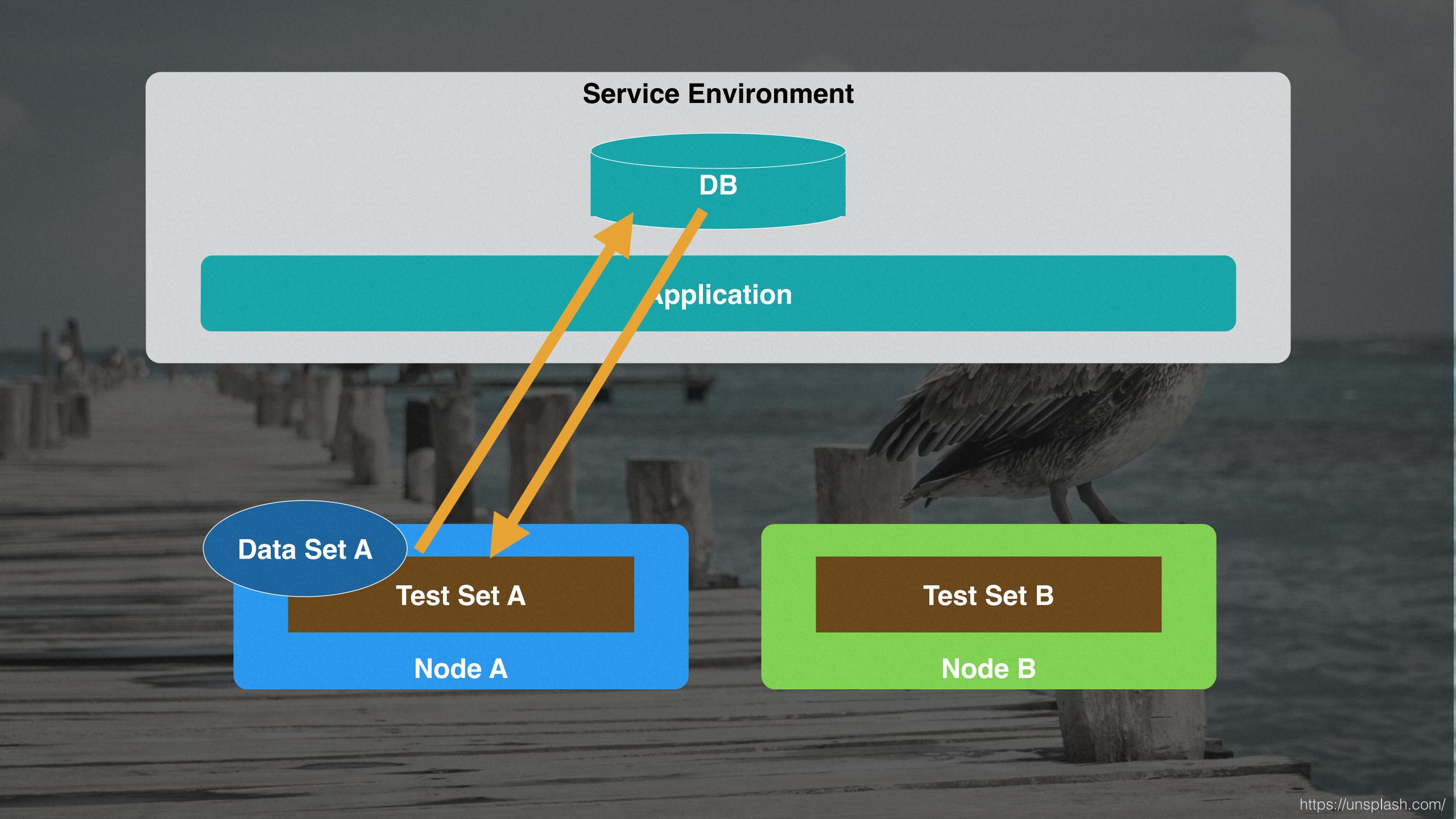


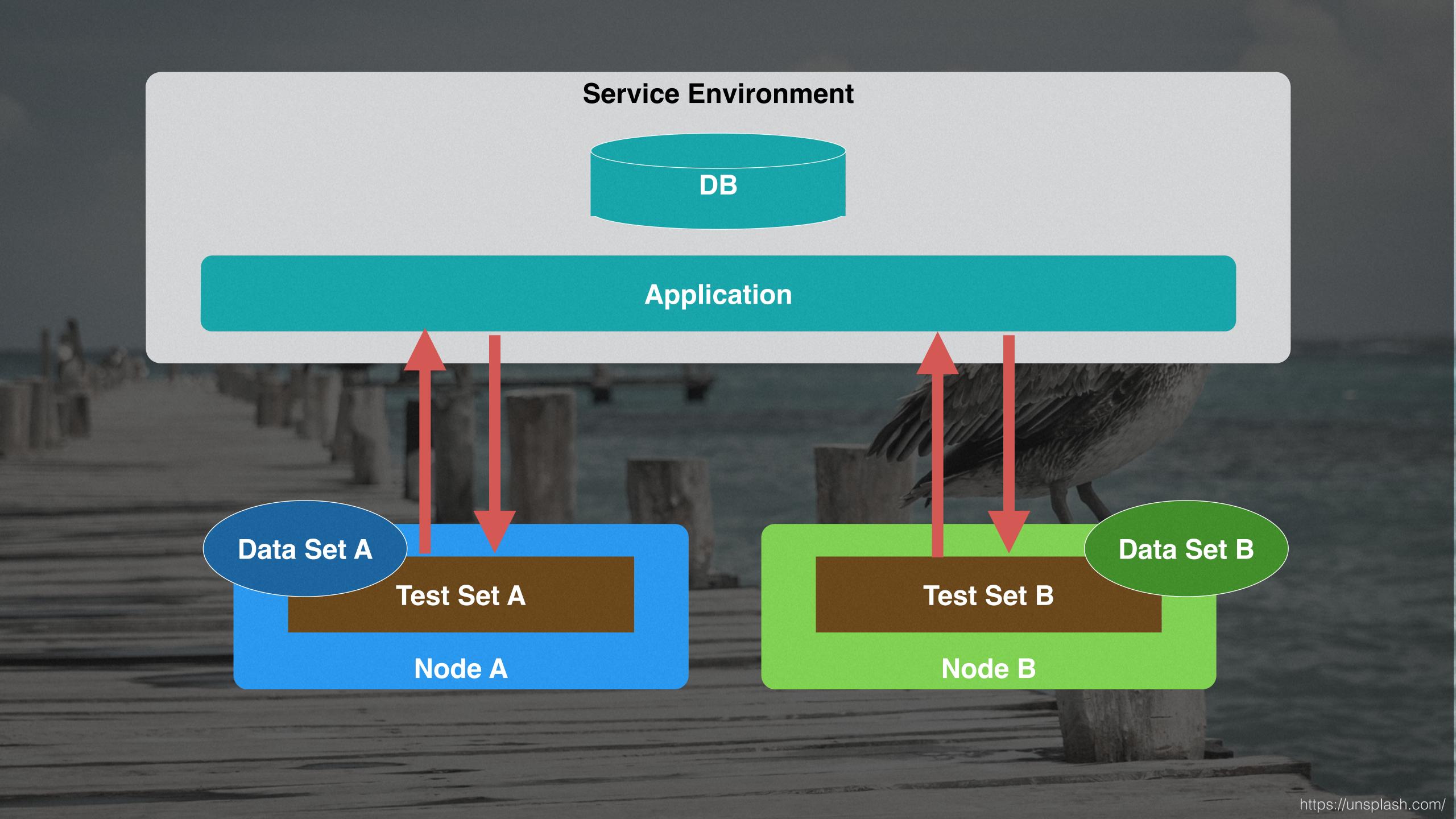












DB 操作によるテストデータ作成

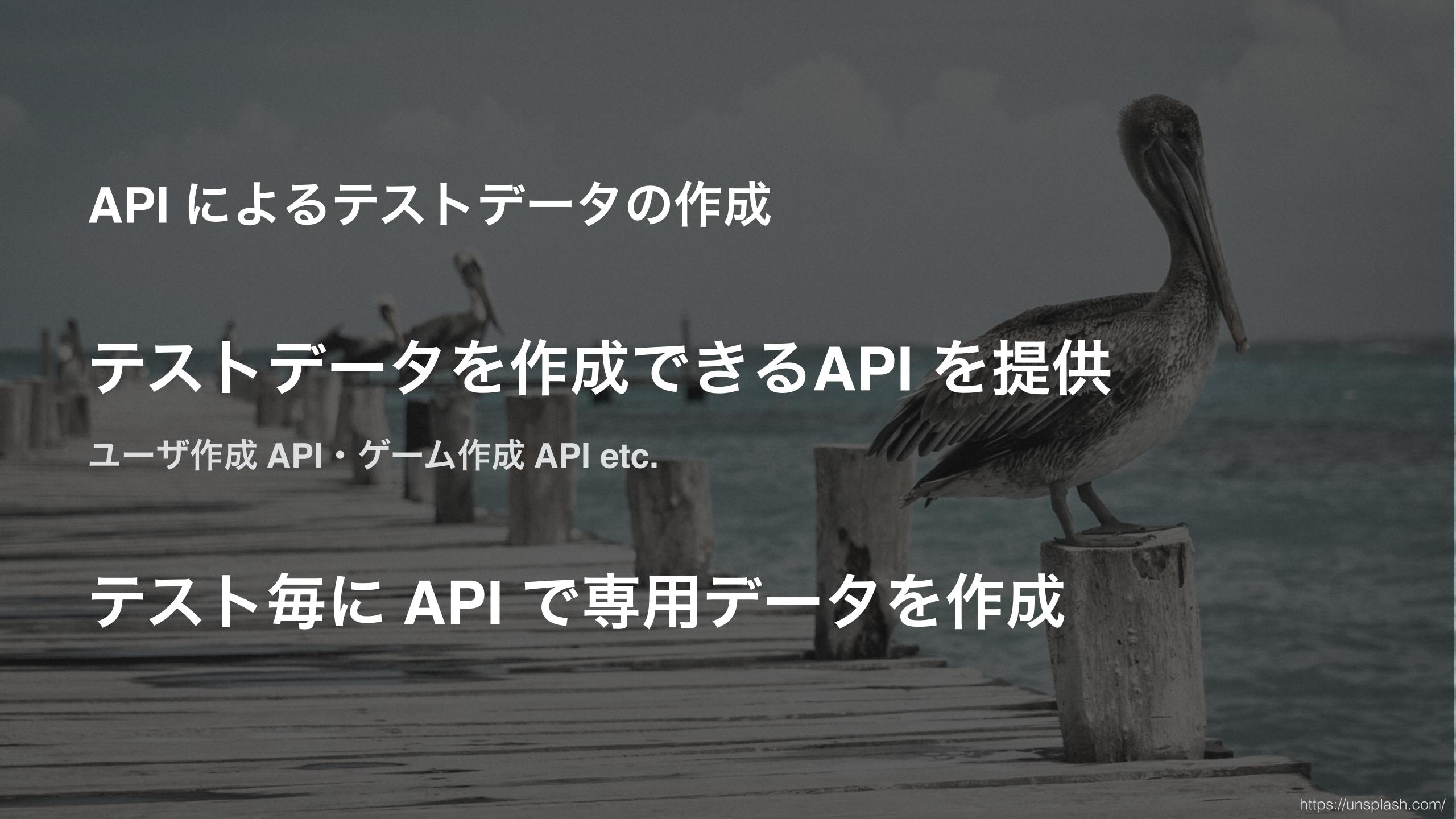
仕様変更に追従し辛くメンテナンスコスト高

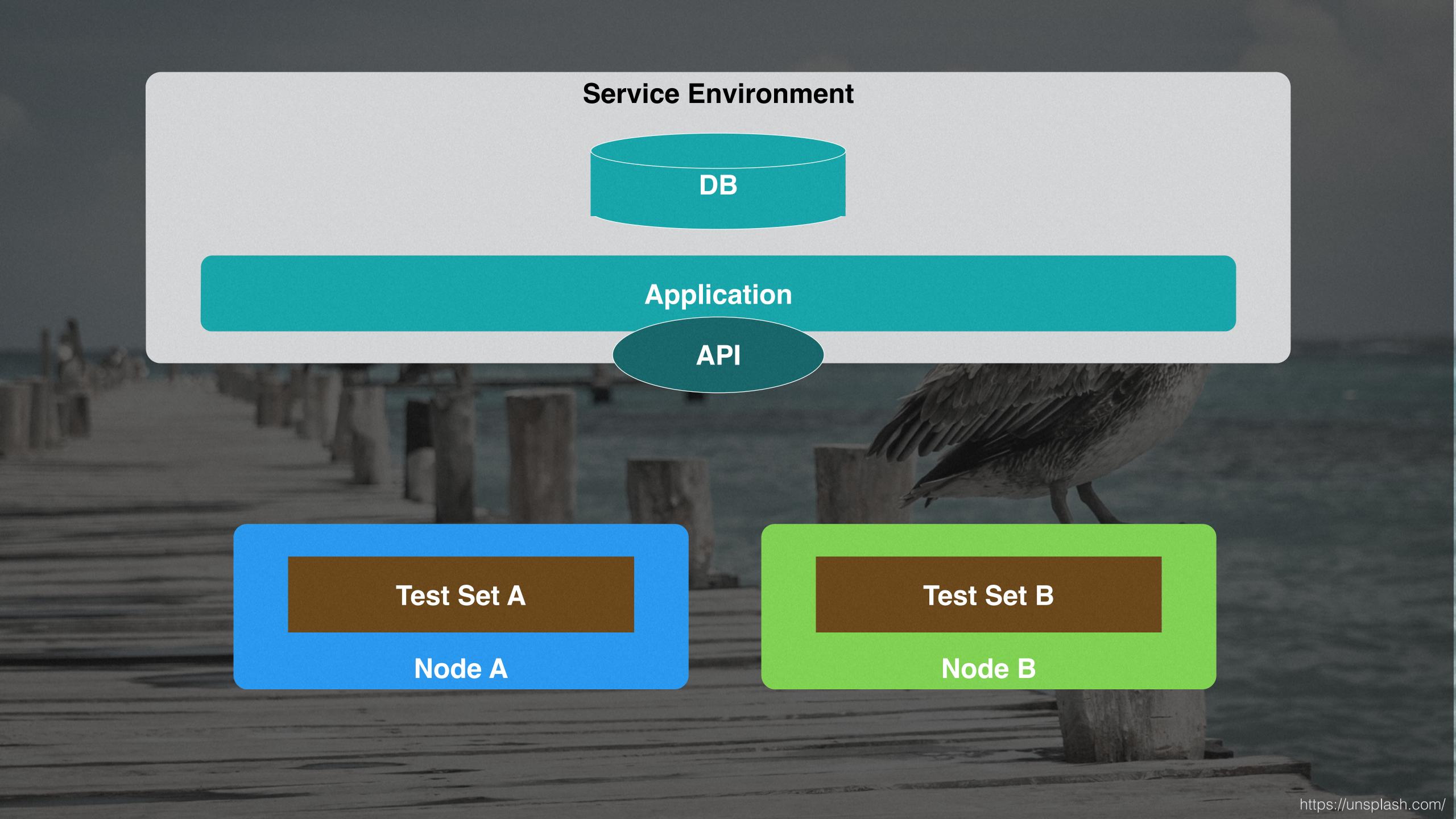
サービス側のスキーマや処理が変わったらテストも修正

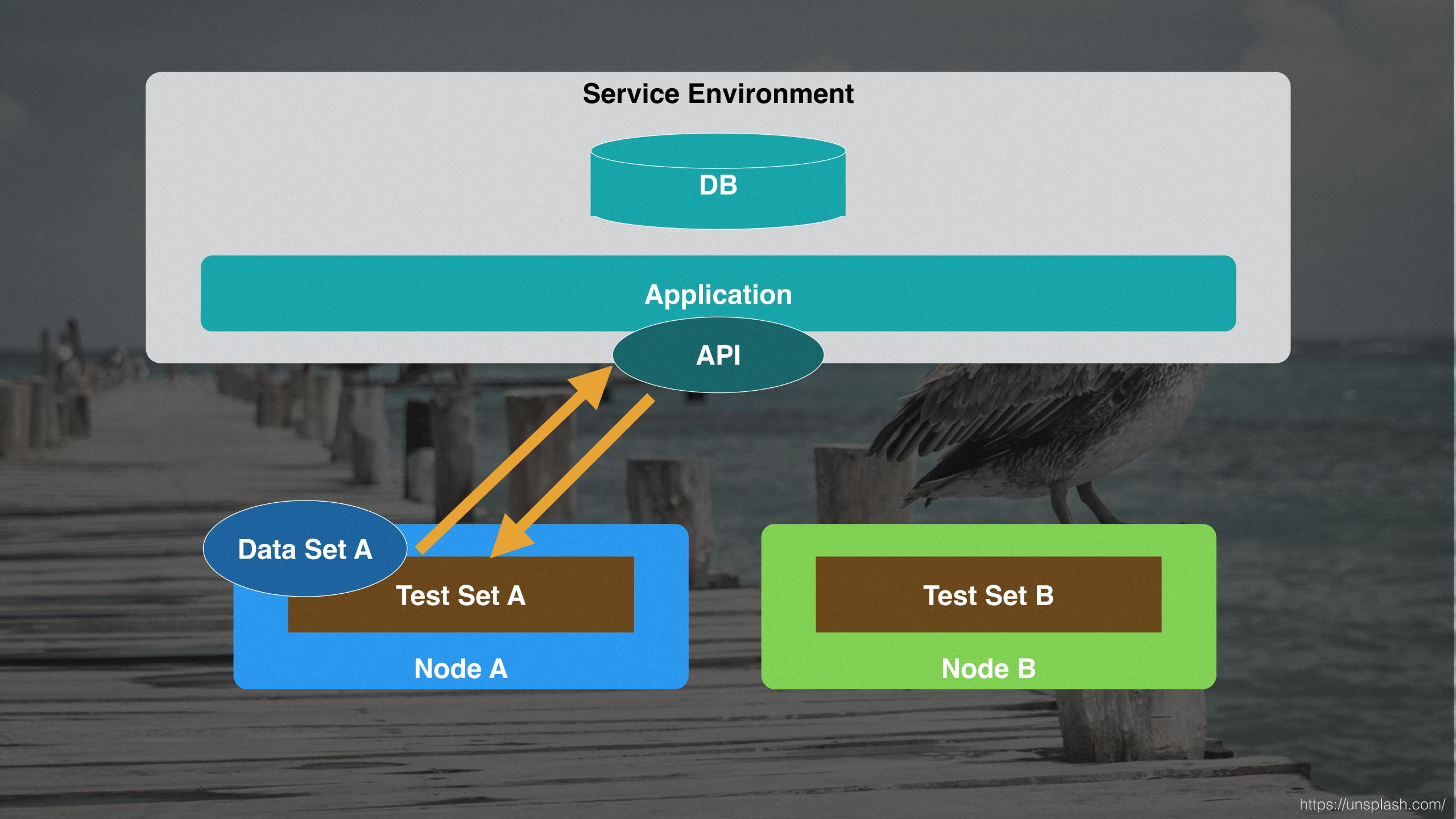
実環境の DB をテストから操作するリスク高

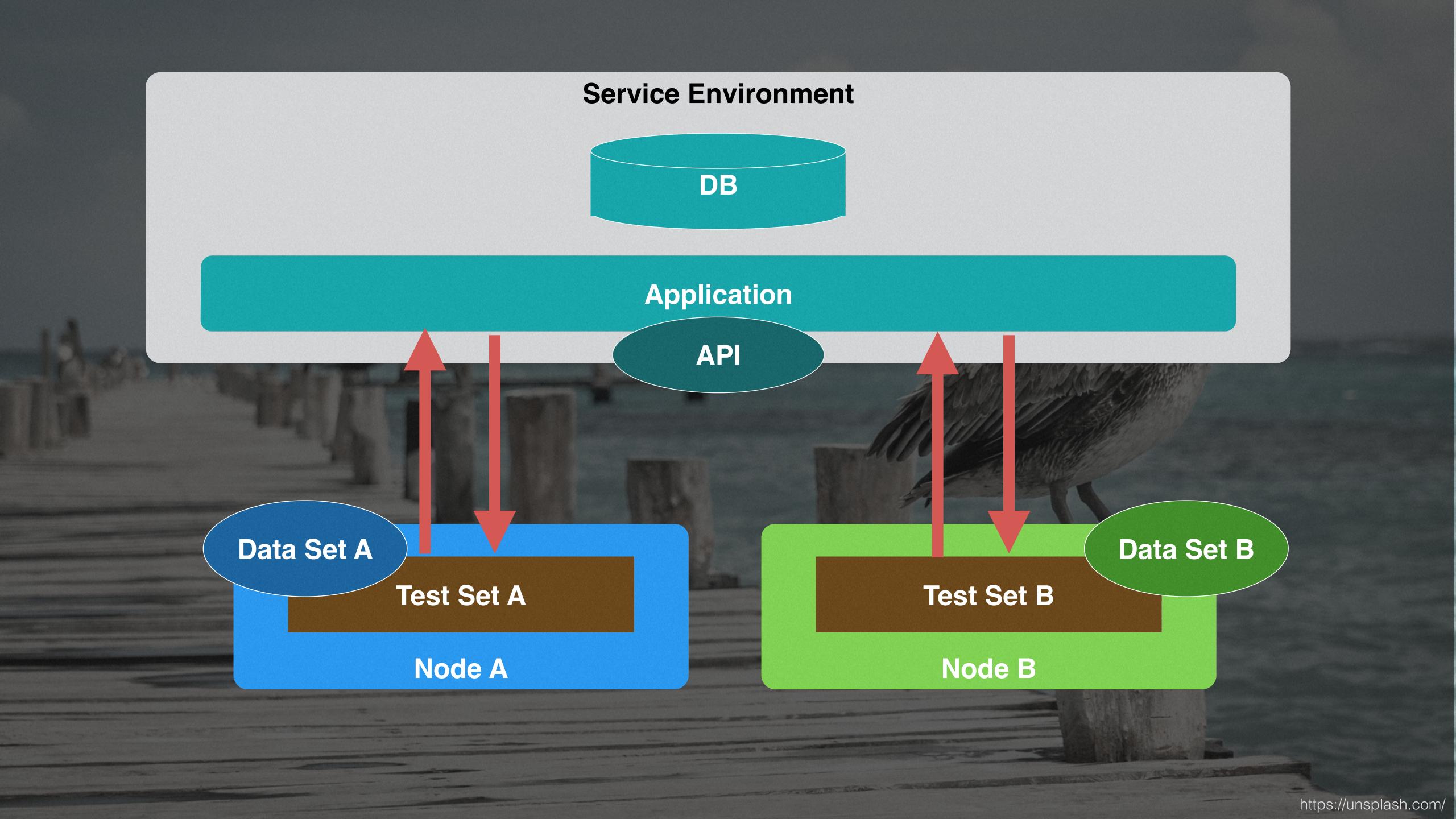
ユーザに不要なテストデータが見えてしまう

サービスに必要なデータを誤って削除









APIが用意されているならベストな選択肢

サービスも同じ API を利用してデータを作成

テストとサービス間でデータ構造に乖離が発生するのは NG

サービスの規模・構造によっては導入コスト高

長期運用によって大規模化したサービス/モノリシックな構造のサービス etc.

NBPFのテスト並列化

全データソースの API 移行は未達成

NBPF リリース: 2014年

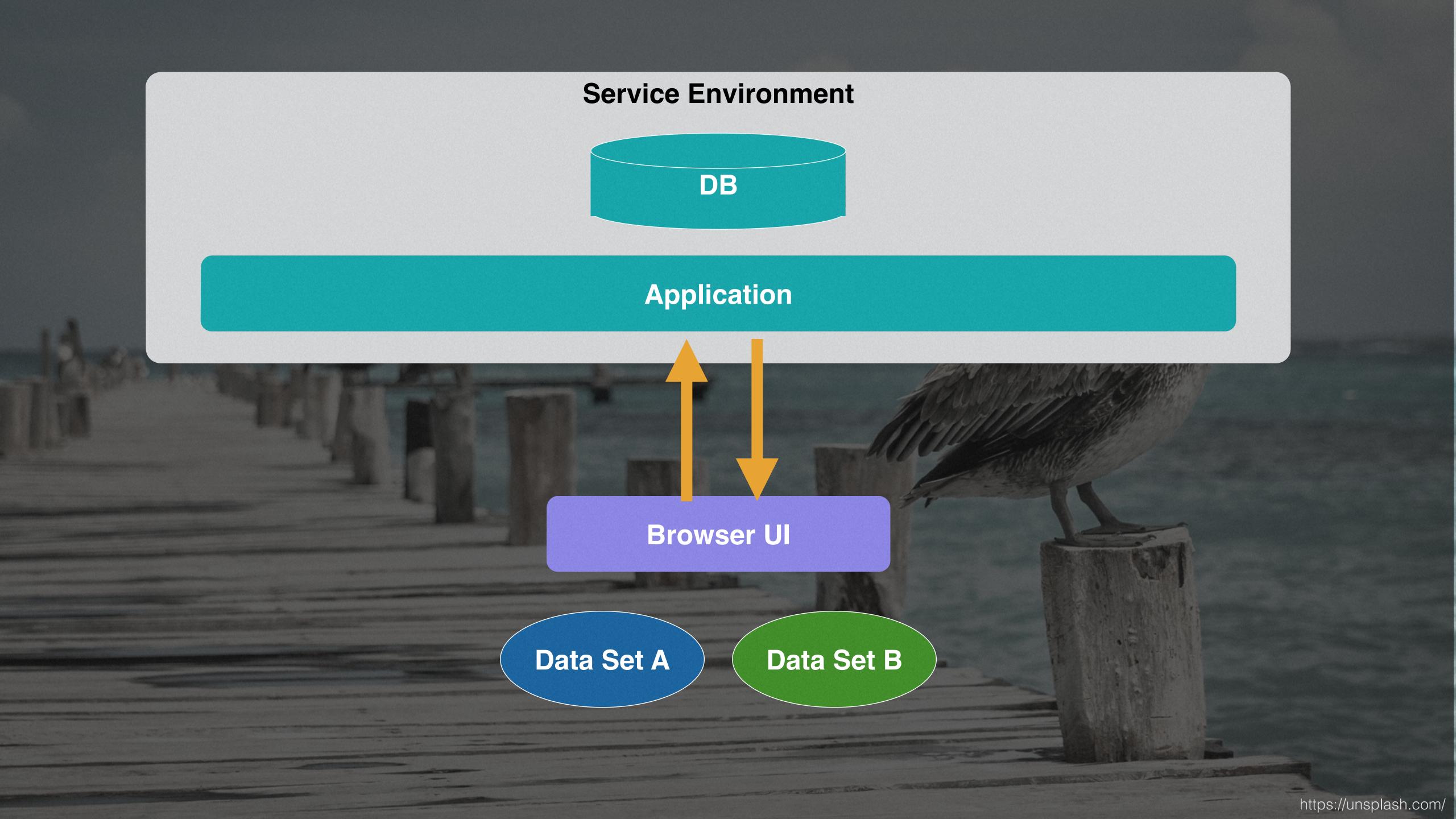
モバゲーリリース: 2006年

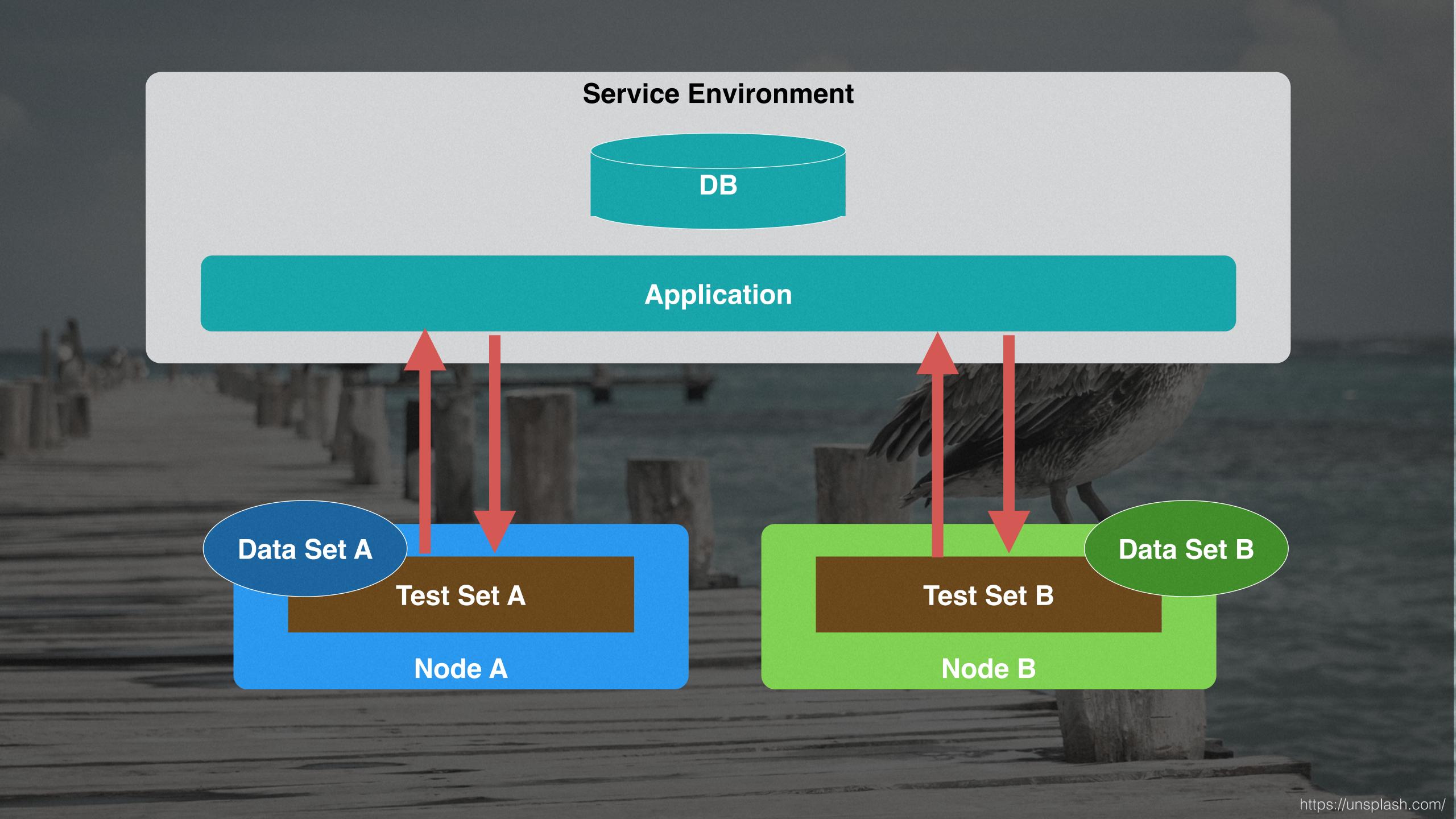
DB 操作はリスクが大きい

数千万ユーザがサービスを利用

テスト実行時に作成できないデータは 事前に準備

各テスト実行ノードに専用のテストデータを 割当





サービスのUI経由でユーザを事前作成

事前作成手順は WebDriver で自動化

UI経由のデータ作成は実行時間がかかる

事前作成データの使い回しが必要



テストの後処理に注意

テストデータが壊れると次回以降のテストに影響

APIで作成不可なデータが必要なら有効な選択肢

ブラウザ自動テストの並列実行環境が完成

8並列テスト on Jenkins 実行時間 2.5h → 30min

カジュアルに全テストケースのリグレッション テストが実行可能 ブラウザ自動テストの構築

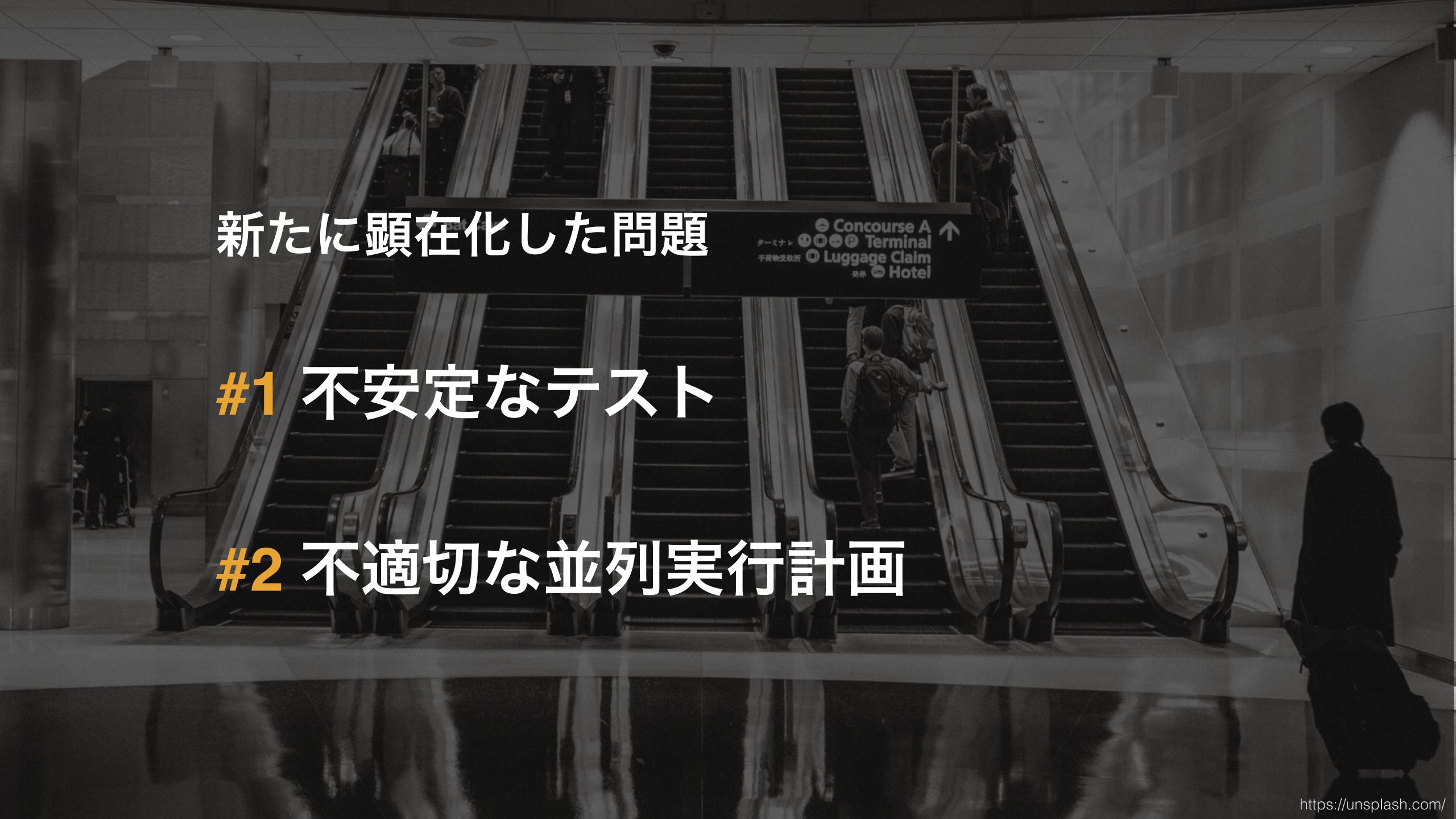
テスト並列化による高速化

並列化したテストの運用・改善

ブラウザ自動テストの並列実行環境が完成

8並列テスト on Jenkins 実行時間 2.5h → 30min

カジュアルに全テストケースのリグレッション テストが実行可能



新たに顕在化した問題#1

不安定なテスト

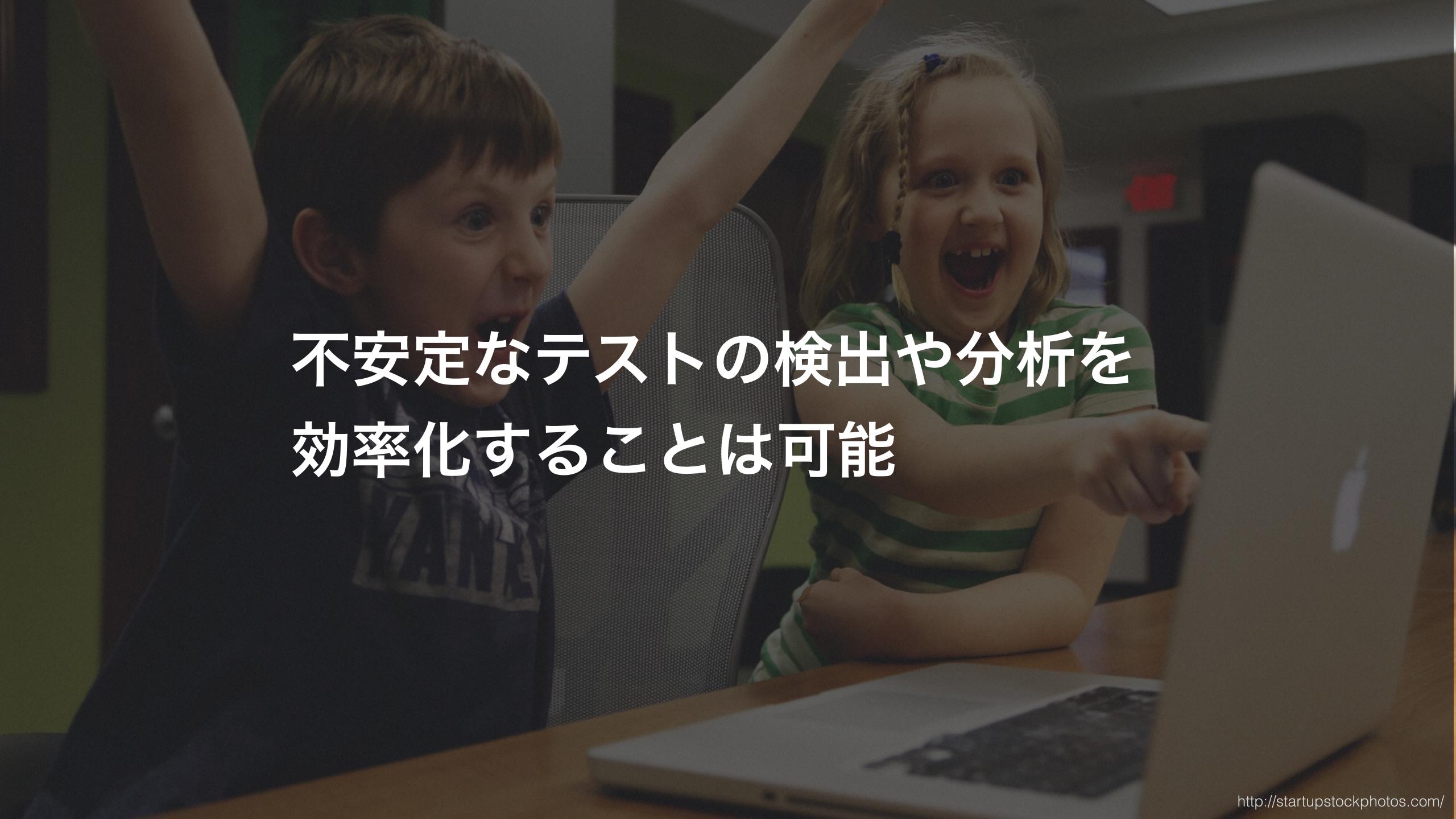
ブラウザ自動テストは不安定になりがち

タイムアウトエラー・Ajax のタイミング etc.

テストに失敗していることに慣れてしまうと 本物のバグに気づけない

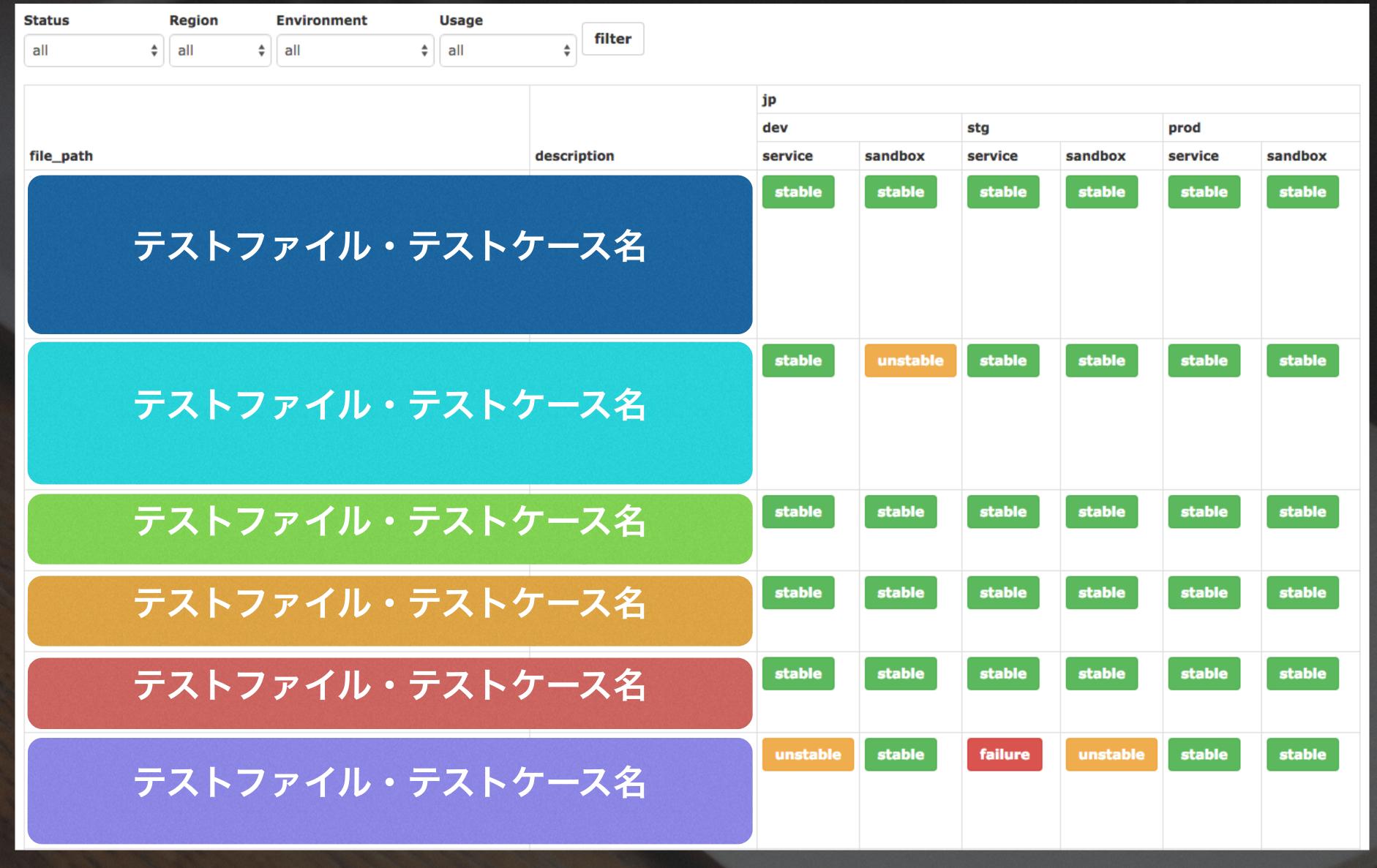




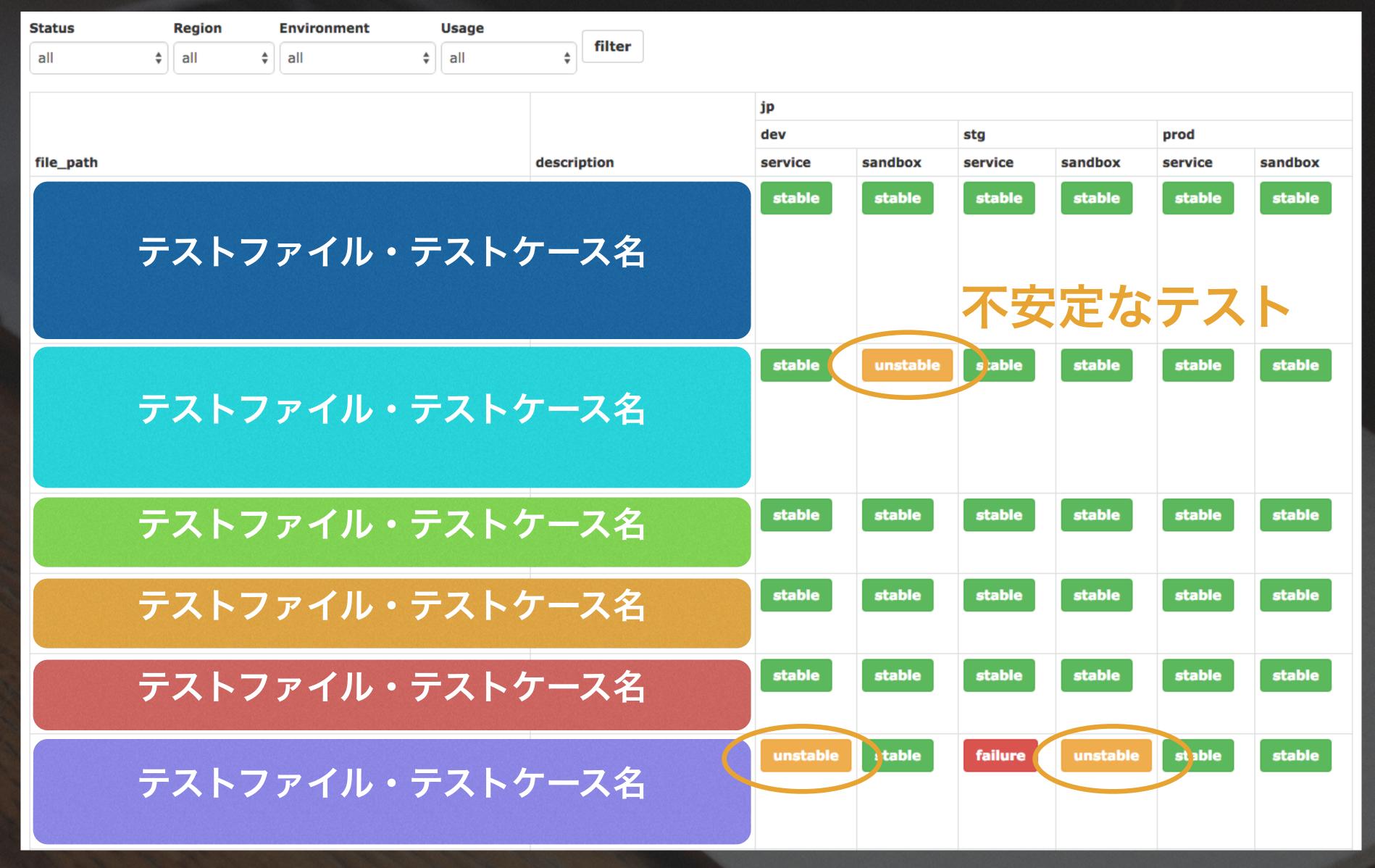


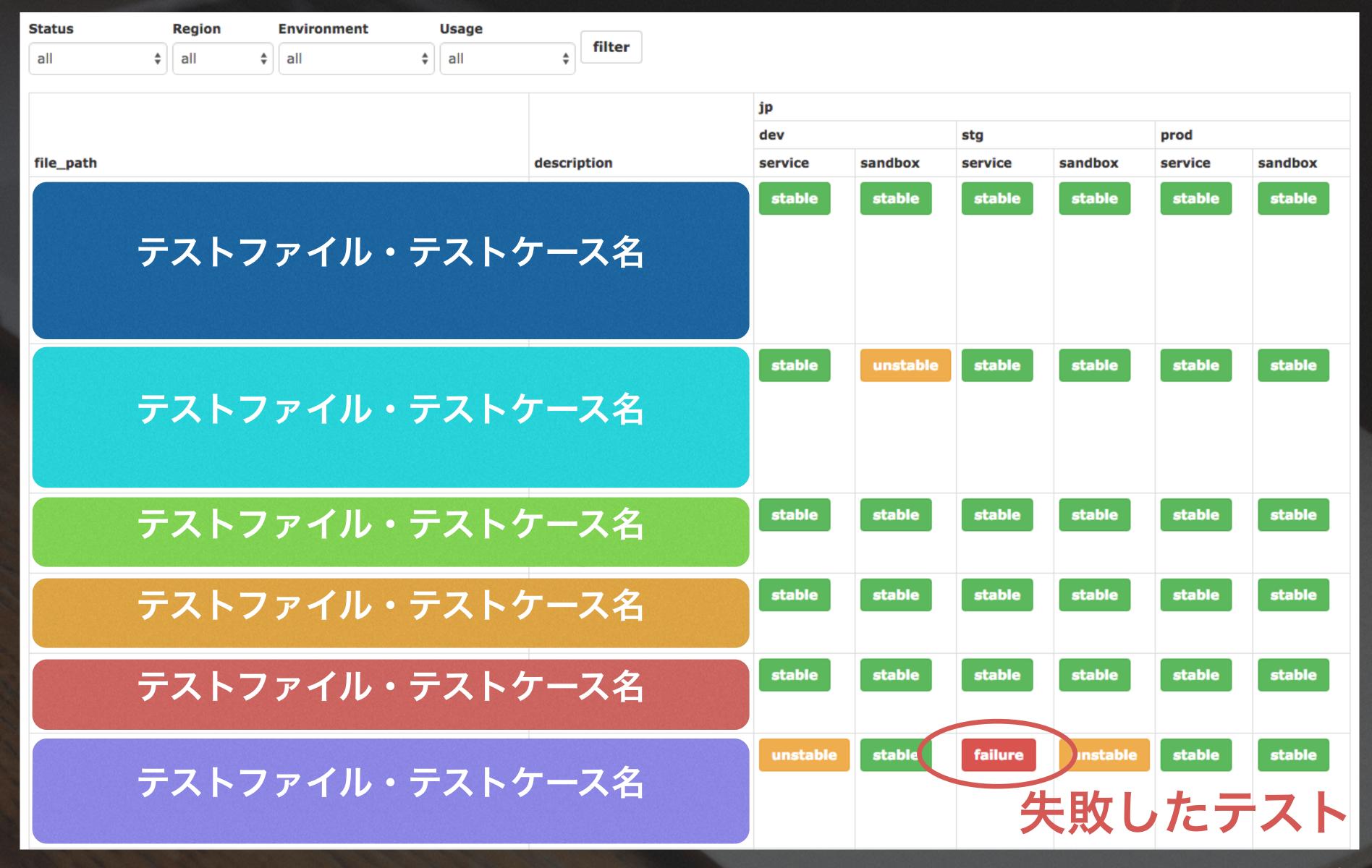
テスト結果の集計 API を作成

テスト実行毎に結果を POST し集計









テストの安定性の評価

突然不安定になったテストケースを

Slack に通知



slackbot 18:53

@channel: 3 test results status changed to failure from stable. Please check

テスト結果確認用 URL と不安定なテスト一覧を通知

failed test cases:

test_a

test_b

test_c





Test Case 2 5 min

Test Case 3
4 min

Test Case 4 6 min

4 Test Cases, 18 min Node A Test Case 5
3 min

Test Case 6
3 min

Test Case 7
3 min

Test Case 8
3 min

4 Test Cases, 12 min Node B Test Case 1 3 min

Test Case 2 5 min

Test Case 3
4 min

Test Case 4 6 min

4 Test Cases, 18 min Node A Test Case 5 3 min

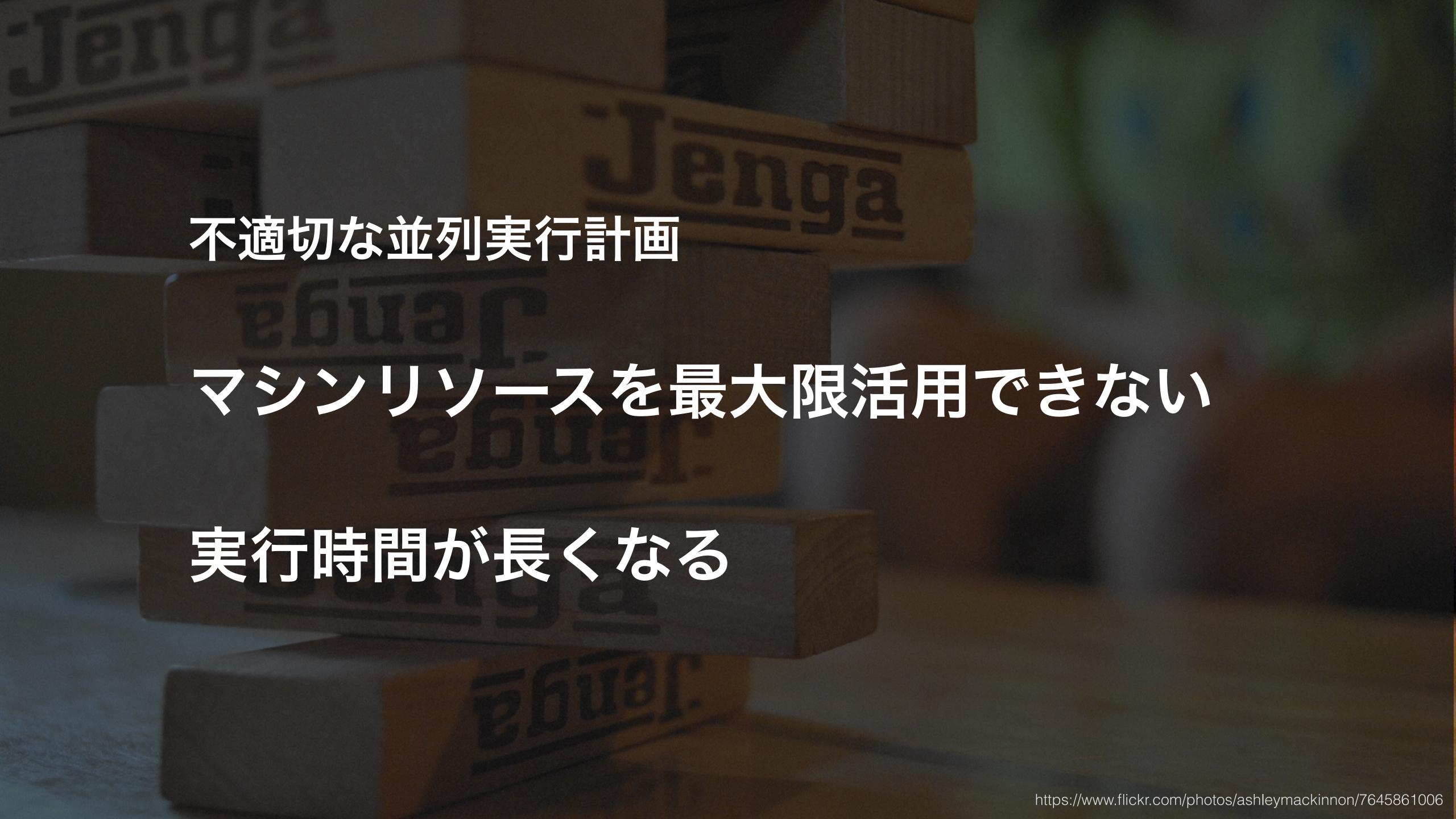
Test Case 6 3 min

Test Case 7 3 min

Test Case 8
3 min

Waste 6 minutes!!

4 Test Cases, 12 min Node B



テスト結果集計 API を利用

過去のテスト実行時間から 各ノードの推定テスト実行時間が均等になる 実行計画を作成

Test Support API

Test Case 4 6 min

Test Case 1 3 min

Test Case 5 3 min

Test Case 6 3 min

4 Test Cases, 15 min Node A Test Case 2 5 min

Test Case 3
4 min

Test Case 8
3 min

Test Case 7
3 min

4 Test Cases, 15 min Node B 今後の課題

#1 データ作成 API の充実

#2分散実行ノードを動的に増やす仕組み

現状社内 Jenkins サーバ クラウド化を検討

#3 並列実行計画の改善

Push 型より Pull 型のアプローチ

まとめ

大規模サービスのブラウザ自動テストを拡充

並列化による実行時間の短縮

テスト安定化・高速化のため独自 API で テスト結果の集計・分析を実施